

科学技術をめぐる言説論的アプローチの展望：ナノテクノロジーを事例に

目 次

第Ⅰ部 本編： 科学技術社会論と社会問題社会学（山口 富子 著）

I. はじめに	2
II. 社会学の領域における言説分析	2
III. 科学技術社会論（STS）と言説分析	7
1. 感覚についての洞察	7
2. STS と言説分析	10
IV. 言説パースペクティブ： あらたな概念モデルの提案	11
1. 社会問題社会構築主義	11
2. モデルを構成する概念	12
クレイム申し立てとアクター	12
イシューの共有プロセス	13
社会的意思決定プロセス：解釈と価値獲得のための活動	14
V. おわりに	15
1. ナノテクノロジー研究開発の最近の動向	15
2. 論文紹介	22
VI. 参考文献	25

第Ⅱ部 翻訳資料編

I. 著者紹介	30
II. [解説] F.シャトーレイノの「公共討議」論について	31
III. [翻訳] L.ボルタンスキ「事件・警戒・破局」	37
IV. [翻訳] F.シャトーレイノ「議論の制約：討議枠組みと政治との間での議論形態」	63
V. [翻訳] J.P. デュピュイ、F.ルル「ナノテクノロジー：倫理と産業的展望」	85
VI. [翻訳] F.シャトーレイノ「ナノサイエンスと技術予言：未来のマトリクスに おけるナノ世界」	125